

平成 31 年度

# 「運営に関する計画」

大阪市立喜連中学校

平成 31 年 4 月

(様式 1)

## 大阪市立喜連中学校 平成 31 年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

### 1 学校運営の中期目標

#### 現状と課題

「全国学力・学習状況調査」の結果から、本校は、ここ数年、全国平均よりも正答率が 5 ポイント低い現状がある。少しでも平均に近づきたいが、横ばい状態が続いている。それは、家庭学習の時間が大阪市平均よりも短いことが一つの原因としてあげられる。また、「書くこと・読むこと」の力も足りなく、学校での学習では、全学習を通じて伸ばしていく必要を感じる。また、「全国体力・運動能力、運動習慣調査」の結果から、全国平均よりも上の項目もあるが、全体として全国レベルより下である。力のない項目を精査し、体力合計点を全国レベルまで上げる。

#### 中期目標

##### 【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

- 平成 33 年度の全国学力・学習状況調査における「学校の規則を守っていますか」の項目について、どちらかといえばあてはまる以上の回答を大阪市平均以上の数値にする。
- 平成 29 年度～32 年度末の校内調査において、学区で認知したいじめについて、解消した割合を 95% 以上にする

##### 【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- 平成 33 年度の全国学力・学習状況調査におけるすべての正答率を大阪市平均よりも 2 ポイント以上離されないようにする。
- 平成 32 年度末の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、体力合計点を全国平均以上にする。

### 2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

##### 【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

#### 全市共通目標（中学校）

- 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95% 以上にする。
- 全国学力・学習状況調査における「学校の規則を守っていますか」の項目について、「あてはまる」と答える生徒の割合を 90 % 以上にする。
- 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を前年度より減少させる。
- 年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度より減少させる。

#### 学校園の年度目標

- 授業妨害等の指導件数を、前年度より減少させる。

## **【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】**

### **全市共通目標（中学校）**

- 中学校チャレンジテストにおける標準化得点を、前年度より向上させる。（標準化得点とは、各年度の調査の本市の平均正答数が、それぞれ 100 となるように標準化した得点のこと）
- 中学校チャレンジテストにおける得点が府平均の 7 割に満たない生徒の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント減少させる。
- 中学校チャレンジテストにおける得点が府平均の 7 割以上の生徒の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント増加させる。
- 校内調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、前年度より増加させる。
- 全国体力・運動能力、運動習慣調査において、体力合計点（教育振興基本計画の成果指標）の平均を前年度より上げる。特に課題である長座体前屈の平均記録を、前年度より向上させる。

### **学校園の年度目標**

- 学校で実施する定期テストの無回答率を前年度より減少する。

### **3 本年度の自己評価結果の総括**

(様式2)

大阪市立喜連中学校 平成31年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</b></p> <p><b>全市共通目標（中学校）</b></p> <p>○年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。</p> <p>○全国学力・学習状況調査における「学校の規則を守っていますか」の項目について、「あてはまる」と答える生徒の割合を90%以上にする。</p> <p>○年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を前年度より減少させる。</p> <p>○年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度より減少させる。</p> <p><b>学校園の年度目</b></p> <p>○授業妨害等の指導件数を、前年度より減少させる。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策1 安全で安心できる学校】</p> <p>学校力アップ事業を通じて、充実した授業を実践し、落ち着きのある授業支援を行う。</p> <p>指標 学校力アップコーディネーターを活用し、授業妨害の報告件数を10件以内にする。また、積極的に、学校支援に係るサポーターを取り入れ、学校教育の充実を図る。</p>	
<p>取組内容②【施策2 道徳心・社会性の育成】</p> <p>研修を通じて教員の指導力の向上を図り、指導方法の工夫・改善を目指す。また、道徳人権教育委員会の組織的な活動の充実を目指す。</p> <p>指標 教科化の初年度、道徳の授業時間を年間35時間実践し、各学期末ごとに評価をする。</p>	
<p>取組内容③【施策1 安全で安心できる学校】</p> <p>いじめのない学校をめざし、望ましい学年、学級集団をつくる。</p> <p>指標 定期的にいじめアンケートを必ず実施し、いじめの早期対応をめざす。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析及び次年度への改善点	

年度目標	達成状況
<p><b>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</b></p> <p><b>全市共通目標（中学校）</b></p> <p>○中学校チャレンジテストにおける標準化得点を、前年度より向上させる。(標準化得点とは、各年度の調査の本市の平均正答数が、それぞれ 100 となるように標準化した得点のこと)</p> <p>○中学校チャレンジテストにおける得点が府平均の 7 割に満たない生徒の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント減少させる。</p> <p>○中学校チャレンジテストにおける得点が府平均の 7 割以上の生徒の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント増加させる。</p> <p>○校内調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、前年度より増加させる。</p> <p>○全国体力・運動能力、運動習慣調査において、体力合計点（教育振興基本計画の成果指標）の平均を前年度より上げる。特に課題である長座体前屈の平均記録を、前年度より向上させる。</p> <p><b>学校園の年度目標</b></p> <p>○学校で実施する定期テストの無回答率を前年度より減少する。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</p> <p>学校元気アップ事業を積極的に活用し、自学自習の場を確保する。また、放課後を活用した学習機会の支援をする。</p>	
<p>指標 定期テスト前、長期休業中（10日間）の学習機会の場を設け、学習に参加する生徒を前年度より増加させる。</p>	
<p>取組内容②【施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</p> <p>読む力、書く力を育成し、各種検定試験を通じて、学力向上への一助とする。</p>	
<p>指標 年間を通じて、英語検定 3 回、漢字検定 3 回、数学検定 2 回を実施する。</p>	
<p>取組内容③【施策 7 健康や体力を保持増進する力の育成】</p> <p>生徒の体力・運動能力向上のための取り組みをする。</p>	
<p>指標 体育大会を 1 学期に実施し、基礎体力向上発表の場とする。また、部活動の充実を図り、部活動顧問モデル事業を有効に活用し、職員の負担軽減とする。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析及び次年度への改善点	